

安全作業上の基本的なガイドライン

1. 安定度について

杭打機の許容安定度は水平堅土上に於いて、旋回作業時 5° 以上《法令より》、走行時 9° (条件付きの場合 7°)以上《日車規準より》と定められていますので、この範囲内での作業をお願い致します。

2. 走行時全装備質量(走行限界)について

一般土上で支障なく走行、ステアリング操作できる総質量です。

許容走行総質量(走行限界)以上の質量で作業すれば、シュー、トラックローラ、減速機等の寿命を短くするばかりでなく、各部の破損につながります。

3. リーダの許容オーガトルクについて

リーダー形式別に装着可能オーガのトルクが制限されます。

但し、電動オーガの定格トルクを表わします。

4. リーダの許容オーガ引抜荷重について

オーガ引抜荷重は荷重計(又は施工管理装置)によって管理するよう御留意願います。

リーダー形式別に最大許容オーガ引抜荷重が制限されます。

尚、許容オーガ引抜荷重には、オーガ関係のフロントアタッチメント質量、土砂引抜抵抗等を含みます。

但し、リーダー長がより長くなった場合、オーガ掘削中心がより離れた場合、及びハンマ、オーガ併用作業の場合には許容引抜荷重が小さくなります。

ご使用条件に合った許容引抜荷重以下での作業をお願い致します。

5. 作業地盤とリーダーの左右傾斜角度について

弊社三点式杭打機のリーダー左右傾斜許容角度は、各々最大 1.5° が限度の構造となっていますので、作業地盤は出来る限り水平にするよう心掛けて下さい。

又、地盤の沈下等が生じないように、敷鉄板等による地盤養生をお願い致します。

6. リーダ起伏能力について

自立可能長さ以上のリーダ長さを起伏(倒し)する場合には、必要起伏補助角度までクレーンにて起伏補助して下さい。

作業手順、必要補助クレーンの能力、注意事項等については、取扱説明書の「補助クレーンを使用してのリーダ起伏作業」の項を御参照下さい。

7. 本体に発電機等を搭載する為の架台について

許容走行総重量(走行限界)、メインフレーム強度、旋回ベアリング及び締付ボルト強度等を考慮して、弊社の認めるカウンタウエイト(又は、同等のウエイトモーメント)の範囲内で発電機や油圧ユニット等を搭載する事は可能ですが、搭載物に見合った専用の架台を使用して下さい。

御使用に際しては、下記の確認をお願い致します。

- ・カウンタウエイト浮き上がり防止ブラケットで本体にカウンタウエイトが確実に固定されていること。(DHP-85、DH358、DH558、DH658、DH758、DH808 は除く)
- ・架台が本体に確実に取り付けられていること。
- ・搭載物が適正であること。
- ・搭載物が架台と確実に固定されていること。

8. 自立兼用フロントジャッキ、アウトリガジャッキの使用について

フロントジャッキ及びアウトリガジャッキは、安定度計算上では転倒支点として考慮はしていません。

フロントジャッキはオーガ作業時に生じる過度な引抜荷重に対する機械の保護、並びにロックオーガ作業等で生じる機械の振動を低減する目的で使用されます。従って、(別表)を超えるオーガ引抜荷重が掛かる場合には必ずご使用願います。

ディーゼルハンマ及び斜杭対応油圧ハンマの後方斜杭打作業時には、本体のあおりを無くす為、アウトリガジャッキの使用をお願い致します。

9. 杭打機出荷後の仕様変更、改造等の実施について

弊社出荷後にお客様御自身にて仕様変更、改造等を実施される場合には、事前に弊社まで連絡して頂き、弊社の了解の上で実施して頂きます様お願い致します。

表 自立兼用フロントジャッキの使用基準 【kN(tf)】

DHP-80	314 (32)
DHP-85	314 (32)
DH358-90M	314 (32)
DH408-95M	353 (36)
DH508-105M	392 (40)
DH558-110M	431 (44)
DH608-120M	471 (48)
DH658-135M	510 (52)
DH758-160M	588 (60)
DH808-170M	588 (60)

※機械保護の為、オーガ引抜荷重が左表のフロントジャッキの使用基準を越える場合には必ず、フロントジャッキを使用して下さい。